

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名: 海川敏雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 131
分水嶺区分:	760m地点～H236袴腰岳～975m地点	(3)山行日:	2005年	3月	27日	(4)天候 曇り時々晴れ 積雪1.5m

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

海川敏雄	10981			逸見忠助	青い山脈会員				
片岡次雄	12093			青木道義	青い山脈会員				
清水和男	13007								
計				3名				計	2名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	大千軒岳知内川コース 最終人家～サテライト局～檜倉岳～分水嶺～H236袴腰岳～975(往復)												
アプローチ:	函館～R228～福島町千軒～知内川林道												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	最終人家付近	大千軒岳	140	15	7.0	41	33	6.9	141		6:00		(9)
分水嶺到達点	760m地点	大千軒岳	140	10	54.7	41	32	22.8	768	10:40	10:40	B-4	(9)・(10)
H236	袴腰岳	大千軒岳	140	10	21.8	41	32	49.7	815	11:30	11:30	B-4	(9)・(10)
	770m地点	大千軒岳	140	10	34.4	41	33	9.0	776	11:50	11:50	B-4	(9)・(10)
	975m地点	大千軒岳	140	10	33.0	41	33	41.0	975	13:00	13:05	B-4	(9)
	(引き返す)												
分水嶺離別点	760m地点	大千軒岳	140	10	54.7	41	32	22.8	768	15:20	15:25	B-4	
歩行終了点	最終人家付近	大千軒岳	140	15	7.0	41	33	6.9	141	18:20		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												11時間30分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H236	袴腰岳814.7m				積雪のため三角点は発見できなかった。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

特記すべきことなし。

(9)水および植生に関連した特記事項

稜線・山頂付近一帯にブナやダケカンバの巨木が多く見られる。山頂には笹が繁茂しているとみられるが、一面雪に覆われていて何も見えない。強風が吹き抜けるコル付近では、クラストした雪面から笹が頭をのぞかせている。

(10)その他の特記事項

知内川コースの最終人家付近に駐車。林道約1.7km地点で左手の山中に入り、300mほど入った尾根の取りつき下にスキューをデポ。尾根上を北西・北に向かってNHKのサテライト・340m・531m・檜倉岳・580m・・・へと進み分水嶺へ。分水嶺上の760m地点から袴腰岳を経て975mまで進み、その後、往路のトレースをたどって帰路に着く。積雪 100～150cm 絶好の春山日和と思われたが、檜倉岳に着く頃から雲行きがあやしくなり、分水嶺上は時折視界不良の猛吹雪に襲われ、踏査は困難を極めた。12時間を越すアルパイトを強いられ、疲労と不安の中にあっても何とか目的を達成することができたのは、サポートしてくれた「青い山脈」の会員、逸見・青木両氏の協力があったからである。ここに感謝の気持ちを付記しておく。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: